

| | | | | | | | |
|------|------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 社会福祉演習 I P | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 渡邊 幸良 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 3 | 授業番号 | 4252 |

●授業のテーマ

資料から社会福祉の本質を理解する

●到達目標

社会福祉の原典資料を読み、社会福祉の本質的な理解を深める。そして、グループワークの中から、レポートの書き方、研究の仕方、プレゼンテーション、ディベート・討論の仕方を身につける。

●学習内容(授業概要)

社会福祉の本質に関わるテーマについて避けることができない重要な原典資料を読みながら、各論者がどのようにそのテーマに応えようとしてきたのかを解きほぐすことにする。

それは、近年の社会福祉はめまぐるしく変化しているからこそ、社会福祉の本質的な課題が改めて問い直されているからである。したがって、前期は資料の輪読と討論が中心となり、後期は学生たちの問題関心に即したプレゼンテーション、ディベート・討議となる。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 自己紹介と授業の進め方、報告箇所決定
2. 福祉国家とは何か
3. 福祉国家の基本モデル
4. ベヴァリッジ『社会保険および関連サービス』
5. マーシャル「市民資格と社会的階級」
6. ウィレンスキー『福祉国家と平等』
7. ハイエク『自由の条件』
8. ゴフ『福祉国家の経済学』
9. オッフエ『現代福祉国家の諸矛盾』
10. 新しい社会運動
11. テイトマス「福祉の社会的分業」
12. ウルヘンデン『非営利活動組織の将来』
13. ジョンソン『グローバリゼーションと福祉国家の変容』
14. ギデンス『第三の道とその批判』
15. 前期の振り返りと夏休みの課題

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、自分の意見をまとめておく。授業後は、個人もしくはチームのテーマについて調べる。

●成績評価方法・基準

グループワーク 50%、プレゼンテーション、ディベート・討議 50%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『資料で読み解く社会福祉』、著者名：岩崎晋也 他、出版社：有斐閣、販売先：Yショップ同朋学園店

●参考文献／その他

適宜、紹介します。

●履修上の注意

見学や合宿なども行う予定です。